

# 未来型農業 ——地域連携によるいちご植物プラント

NTT西日本グループでは「スマートな地域社会」を実現するため、ソーシャルICTパイオニアとして、地域社会の課題解決や人と社会のつながりの強化をめざした取り組みを行っています。具体的には、Smart10xとして10分野について地域が抱える課題の解決に向け、地域に存在するノウハウ・リソースとNTT西日本グループのノウハウ・リソースを活用した取り組みを進めています。本稿では、その中でも一次産業分野において取り組みを進めている、未来型農業としての植物工場の取り組みについて、2021年4月にニュースリリースをした「佐川いちごから広がるICTを活用した農業振興と地域活性化に関する連携協定」について紹介します。

たかやま 高山	よしかず 善和 <sup>†1</sup>	つづき 都築	かつひと 克仁 <sup>†1</sup>
うえかわ 上河	つかさ 司 <sup>†1</sup>	のむら 野村	ともゆき 智之 <sup>†1</sup>
まえはら 前原	ゆりこ 侑李子 <sup>†1</sup>	うなみ 宇波	あきこ 晶子 <sup>†2</sup>
かわかつ 川勝	たかし 崇司 <sup>†2</sup>	こうやま 高山	ひろき 裕貴 <sup>†2</sup>
いわたに 岩谷	なおき 直樹 <sup>†2</sup>		

NTT西日本<sup>†1</sup>  
NTTビジネスソリューションズ<sup>†2</sup>

## 協定の締結と至った経緯

2021年4月24日に、JA高知県佐川支所苺部会（佐川苺部会）、NTT西日本、佐川町および高知県は、佐川町が掲げる「植物を中心としたまちづくり」の可能性探求として、特に佐川いちごの生産技術、ICTを利活用した農業振興と地域活性化を推進するため、連携協定を締結しました。

佐川苺部会においては、生産者の高齢化や減少が進み、技術継承に向けた取り組みを行う中で、持続的な農業の可能性として、新規に就農しやすい環境の模索を行い、新規就農者増をめざしています。

NTT西日本は、社会を取り巻く環境変化がもたらすさまざまな課題に対し、先頭に立ってICTの力で解決をしていく「ソーシャルICTパイオニア」

をめざし、地域と連携して取り組んでいます（図1）。その取り組みの1つとして、従前より農業分野における社会課題解決のための手段としていちご

植物工場ビジネスを検討しています。今回、流通業者にも評価が高かった佐川町のおいしいいちごをぜひ植物工場でも栽培したいと考え、佐川町苺部会



図1 NTT西日本が取り組む Smart10x

に相談したことから本取り組みが始動しました。

また、佐川町は、佐川苺部会の支援のため新たな就農者の誘致や、子どもたちが佐川町の産業に興味を持てるように、ICTを活用して産業を学べる町づくりをめざしており、また直面する人口減少対策、地域創生と好循環の確立に向けた「佐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、ICTの

有効利用を図っていきたいと考えています。

このような背景の下、佐川いちごの生産現場において、ICT活用を推進することにより、農業振興および植物を中心としたまちづくりの推進に寄与することを目的として、連携協定を締結することといたしました。

NTT西日本では、今回は地域連携を図りながら農業現場でのICT活用と

関西の植物工場との連携を進めることで、新たな農業、植物を中心としたまちづくりに向けて、農業のDX（デジタルトランスフォーメーション）による農業振興方法の探求も行っていきます。

なお、高知県は、佐川苺部会、NTT西日本および佐川町の連携による取り組みをサポートするため、本協定に参画しています（図2、3）。



図2 佐川町連携の背景とキッカケ

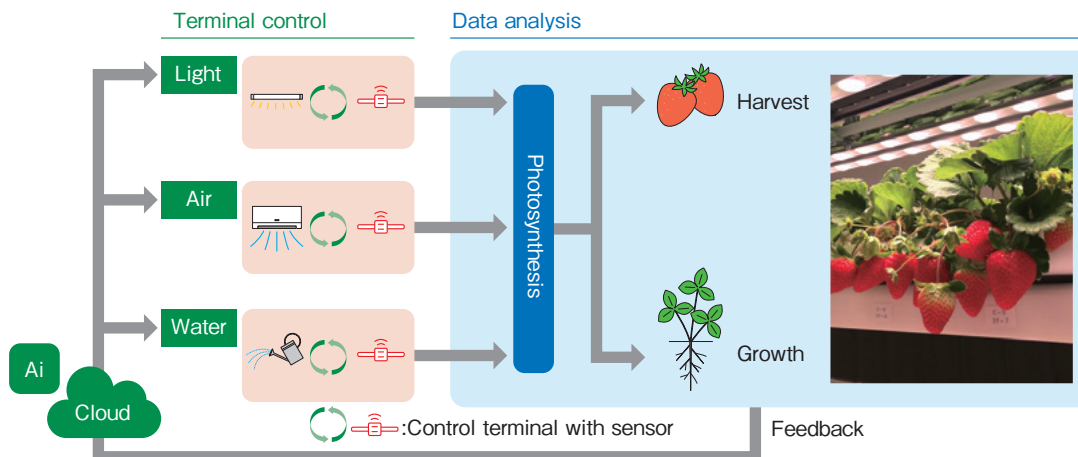


図3 いちご植物工場における栽培技術



写真1 高知県佐川町のいちご栽培圃場



写真2 NTT西日本グループによるいちご植物工場

## 連携内容

### ■具体的実施事項

- ① 佐川いちごの新規就農者の増加に向けた取り組み
  - ・ いちご植物工場を通じた佐川いちごおよび産地PR
  - ・ いちご向けICTを活用した生産振興
- ② 植物を中心としたまちづくりの推進
  - ・ 道の駅での植物工場産いちご販売等の活用検討
  - ・ 道の駅の魅力・パフォーマンス最大化に向けたICT活用検討
  - ・ 閉鎖型植物工場技術を活用した外商拡大および地域活性化 (写真1, 2)
- ③ 佐川町
  - ・ 「植物を中心とした町づくり」の推進、発信
  - ・ 佐川いちごブランドの発信
  - ・ 植物工場を活用した農業振興・地域活性化の検討
- ④ 高知県
  - ・ 産地の意向に沿った生産から販売までの取り組み支援

### ■協定の期間

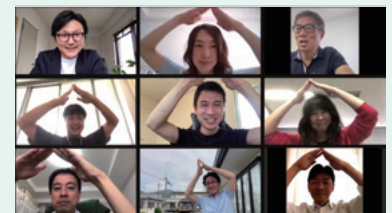
2021年4月24日～2022年3月31日

### ■各者の役割

- ① JA高知県佐川支所母部会
  - ・ 新規農業従事者の増加に向けた各種活動
  - ・ いちご栽培技術の探求
  - ・ 佐川いちごの栽培技術ノウハウの提供
- ② NTT西日本グループ
  - ・ 新規就農者増をめざすICT支援

## 今後の展開

今回の連携協定を契機として、佐川いちごを中心としながら、ICT活用等さまざまな分野において協力し合い、地域活性化を推進していきます。



(上段左から) 岩谷 直樹 / 宇波 晶子 / 都築 克仁

(中段左から) 川勝 崇司 / 高山 裕貴 / 前原 侑李子

(下段左から) 上河 司 / 高山 善和 / 野村 智之

私たちは、地域の匠の技とICTを用いて、食のバリューチェーンをいつまでも続くものに変革し、いつでも、どこでも、おいしいが手に入る豊かな社会をつくりあげていくことをめざします。ぜひ、ご関心のある方はお問合せください。

### ◆問い合わせ先

NTTビジネスソリューションズ  
 ソーシャルイノベーション推進本部  
 バリュークリエーション部  
 TEL 06-6948-5085